



AIR断震 倶楽部通信 57

世界初! 空気の力で家を浮かす!
揺れない家が家族を守る



「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。
※このメールはテキストメールでもご覧になれます、HTML形式で配信しております。

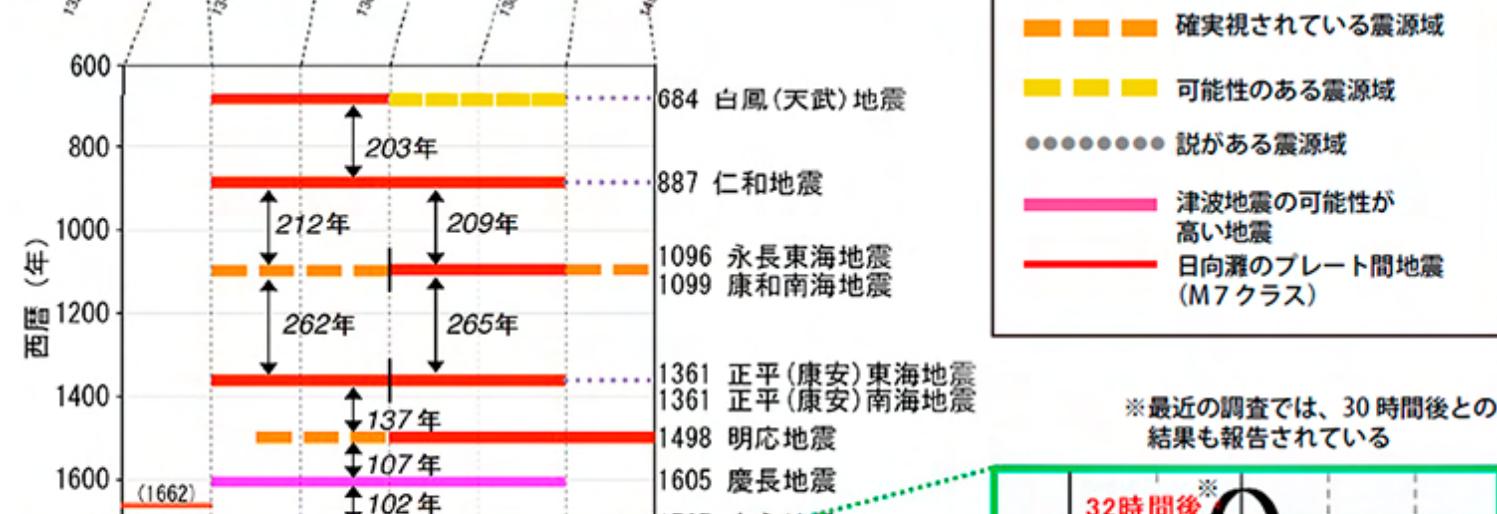
30年以内の南海トラフ地震 発生確率見直し 「60～90%程度以上」「20～50%」と併記

政府の地震調査委員会は2025年9月、南海トラフ巨大地震の発生確率を見直しました。今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が起きる確率は、従来の「80%程度」を「60～90%程度以上」に変更し、別の統計モデルによる「20～50%」という値も併記されました。これまで1つだけの発生確率を発表していましたが、予測の不確実性を幅として示すことで、地震発生時期の特定が難しい現実をより正確に伝える狙いがあると思われます。

地震調査委員会の狙いは、「最低でも20～50%の可能性はあるが、実際には60～90%という高い可能性も排除できない」と示すことで、防災関係者や一般市民に「高確率リスクと低確率リスクの双方を念頭に置くべき」という危機意識を促すところにあると思われます。

予測が難しい地震だからこそ、「明日にも大地震が起きるかもしれない」という意識を持ち、日ごろから地震への備えをしっかりとしておくことが大切です。

●南海トラフ地震の30年以内の発生確率の併記



▲図は地震調査研究推進本部の発表資料より転載

歴史上の南海トラフ地震を分析すると発生予測の難しさが見えてくる

●過去の南海トラフ地震と震源域



▲「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版）」（地震調査研究推進本部）より

過去の南海トラフ地震は、300～600年間隔で発生していますが、震源域が広範囲に及び、大きな津波を伴う地震、発生から数時間～数年後に、最初の地震の隣接域で地震が発生するケースもあり、どのような地震が、いつどこで起きるかの予測が大変難しい地震です。

詳しくはHPへ▶

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！

「エアー断震システム」

地震の揺れを感じると瞬時にセンサーが作動。エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。

震度7の揺れを約1/30に軽減



▲国立研究開発法人 防災科学研究所での実証実験の様子

震度7を想定した住宅の浮上実験をご覧ください。

詳しくはHPへ▶

バックナンバー▶

資料請求▶

展示会場▶

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るために本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》

株式会社 三誠AIR断震システム

〒104-0033 東京都中央区新川1-6-12 M&Sビル3階

TEL: 03-3551-0272 FAX: 03-3551-0273

info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら